

タウンミーティング議事要約

テーマ： 市川の魅力を語ろう

日時： 令和元年6月2日（日）午前10時～11時30分

場所： 全日警ホール 第3会議室

参加者： 約100名

この回のタウンミーティングでは、参加者からの質問に Web 投稿を利用しました。
議事要約に掲載している質問文は、投稿文をそのまま掲載しています。

<1>行徳のお御輿を市の北部にも披露してください。

中台：

行徳は神輿の産地として有名で、神社仏閣が多いことで職人が多く、日本橋などに塩とともに水路で神輿を運んでいた。世に出ている江戸神輿の4割近くの製造に行徳が関わっていたといわれている。

昨年4月に神輿づくりを紹介できるミュージアムをつくったところ、地元の小学校は授業に取り入れたりして見学に来ている。北部の小学校からは以前に神輿紹介の依頼があり神輿を持っていったこともあるが、そこで3年生の8割が神輿を担いだことがないことを知り、こういったことから伝統文化が衰退していくと思うので、みなさんが興味を持っていただければいつでも参上する。

また、行徳神輿ミュージアムは大型バスも入れる駐車場を完備しているので、お子さんやお孫さんを連れて是非いらしていただきたい。

市長：

行徳が神輿の一大産地だという事を市民の皆さんは意外と知らないと思うが、凄いことだと思う。地域の特徴として子ども達にも伝えてもらいたい。

祭や神輿というと敷居が高いと感じるかたもいると思うが、中台さんはオープンな方なので興味があれば相談してみたい。

<2>新しい発想とチャレンジを若い世代に期待します。年長者はサポートと応援をしっかりしていきたいと思います。

市長：

そうやってあたたかく見守っていただけると、藤田さんや矢路川さんのような新しい挑戦をされる方がたくさん出てきて、街も元気になり、その様子を見てまた新しい人達が入ってきて街が元気に成長していくと思うのでとてもありがたい。

<3>市川の自然環境に魅力を感じている人が多い。その中でも国府台の台地には緑が多く、静かな文教地区にもなっている。それぞれの地区の特徴を大事にして欲しい。

市長：

大切な事だと思う。それぞれ街に特徴があり非常に個性があり多様性があると思う。市民の皆さんに地元を大事にする意識を持っていただけると、我々も仕事がしやすくなる。

<4>近隣の浦安や船橋と比べて市川市の全国的知名度がとても低い。よいリソースがたくさんあるので外に向けてのシティプロモーションが必要と感じます。

市長：

事実だと思う。我々は内なるプライドを秘めているだけで、それをもっと前面に出して宣伝していかなければならない。今、市川市は「いつも新しい流れがある市川」というキャッチコピーでやっていて、公告代理店などにも協力してもらい、街の魅力を発信出来るように今年度から取り組んでいるので、今後大いに変わっていくと思うので是非ご期待いただきたい。

<5>市川のイベントってなんですか？

市長：：ご指摘のとおりでイベントが少なく、例えば市民まつりも大洲防災公園まつりのようになっていて、市民全体のおまつりにはなっていないし、花火大会も統一性や他のイベントとの関連性がないように思う。

エドロックもこれから盛り上がっていくと思いますし、市民まつりと同日開催でしたね。補足で説明をお願いします。

藤田：

市民まつりと同日の11月3日に開催する。大洲防災公園から徒歩3分程度の場所で開催するので是非いらしてください。

昨日、水フェスタにも行ってきた。同日開催ではないけれど、お互い宣伝しあっていければ、市川にもこんな面白い事があるんだと感じてもらえると思う。

市長：

ありがとうございます。11月3日は市川市の85歳の誕生日ですので、今年はエドロックも共催という形にして、更に、現在はまだ警察と調整中ですが、産業道路を使って神輿をみんなで担げないか考えているので、是非皆さんにお越しいただきたい。

<6>市川市にはたくさん良いところ、スポット、イベントがある事が改めてわかりました。このよいところを市内外にどのようにアプローチしていこうとお考えですか？

市長：

市役所としてどうするかは後でお話しするとして、ゲストのお三方はどうお考えでしょうか。

矢路川：

市川市に本社のある塾のホームページに紹介してもらっているが、活動を紹介する際は必ず「市川市」と付けてもらっている。また、その記事を見て結構遠いところから来てくださる方もいて、その方を通して自分の活動や市川について広めてもらえると思う。個々が少しずつそういった意識をすることが大事だと思っている。

市長：

行政としては矢路川さんのような方が増えれば、よそから人は来ると思うし、街全体も魅力的になるので、こういう方々が増えるようなサポートをしていかななくてはいけないと思う。役所の仕事は硬くてださくなりがちなので、若い方々のメンター役の方々に市川の魅力を発信して欲しい。

市川市のイベント情報などは、わかりにくいという意見をもらうことがあるため、ホームページなどはいま直しているところですので、しっかり情報発信が出来るように頑張りたい。

<7>市川市は文化の都市街のはずですが、又、教育にも力を入れているはずですが、最近、市川駅周辺の本屋が店舗の閉鎖・縮小が続き、新装されるシャポー内には、本屋（書店）がない状態になる。本屋さんは地域の文化発信地となる拠点。是非書店の誘致を。

市長：

ご指摘のとおりだと思います。これはいろいろ考えがあるので、また考えがまとまりましたら発表させていただきたい。

<8>真間・須和田地区に常設の未就園（学）児室内遊技場が欲しい。

市長：宿題として持ち帰る。

<9>ゲストが、伝統・現代 art・個人のスキル活用でバランスが良かった。ここにそのうち最先端技術活用が並ぶと更に良さそう。

市長：

ありがとうございます。先端技術を使ってイノベティブな仕事をしている人が加わると、市川市は最強ということなのでしょうから頑張っってやっていかないといけない事だと思う。

<10>codoのwebページはありますか。wi-fiが使えるならIT技術勉強会などで使いたい。

矢路川：

web ページ自体はまだ作っていないが、wi-fi やプロジェクターは完備されている。また、昼の部屋もあり床暖房付き。赤ちゃんを連れてお母さんのための対応も考えている。

codo は会員制のコワーキングスペースなので、ご興味のある方はご案内しますので後ほどお声かけいただきたい。

市長：テレワークや地域のイベントもやっていただけるとありがたい。

<11>市川市は仕事や結婚で定住先を決めるまで一時的に住む人も多い町。その人たちに、どう市をアピールして定住してもらうか、選挙の投票率を上げるかの視点が足りない。

本八幡周りにファミリーマンションが駅前に少ないので、子どもが生まれたらよその地域に引っ越してしまう。

市長：

新しく人をどうやって引き込むかという努力を今後もっとしたいと思っっていて、例えばこのタウンミーティングは市民の皆さんの意見を伺う機会ですが、フランスのボルドーとい

う街では、市長が、どうやって市民の皆さんに地元をもっと好きになってもらうかについて努力をされていて、なおかつ人を呼び込む努力もされていて、転入予定者や何かやってみようという方々など、まだ市民でない方に対して、市長が街の魅力を語るタウンミーティングのようなものを定例で実施している。それがすごく効果があると聞きましたので、そういうタウンミーティングをやっても良いと思う。

投票率を上げるというのは大事なことで、街の取り組みや運営に参加をすることそのもので、投票率が低いという事は街に関心が無いことに繋がっていると思う。それは我々選挙に出る人間も努力が足りないし、投票に行きやすい仕組みを市で作るというのも大事だと思う。電子投票のようなものは、法律で投票は自署によるとされているので携帯での投票は技術的には可能だが法律的には出来ないので、例えば共通投票所といって、どこの投票所でも投票できるようにする事は出来る。

そういう風に、投票しやすい環境を作って、あるいは選挙に出ているか方々の政策をもっとわかりやすく伝えるサポートを市がするとか、様々なアンケートを電子投票の仕組みを使って市民の皆さまに参加していただく、つまり市民の皆さまに市政に参加していただく機会を作ることによって当事者意識が生まれるし、自分達の意見がこうやって市政に反映されるんだというのが伝わると思う。

ナイトメイヤーというのが欧州ではあり、夜の街や経済を元気にするために、飲食店の経営とか街の風紀のことを専門に考える夜の健全な街づくりのための夜の市長を専門家にやってもらい、その夜の市長を選ぶ投票を電子投票でやるとか、そういうことをいろいろやることで皆さんに関心を持ってもらい、もっと街づくりに参加してもらえないかと思う。

そうすれば、本当の投票にもみなさん行ってもらえるのではないかな。

<12>LINE で住民票申請出来ても受け取りまでは出来ないなので、コンビニでマイナンバーカード使って印刷するのに利便性に負ける。無用な施策だったと思う。

市長：

郵送で受け取りまでできる。LINE で住民票を申請してもらい、3日後くらいに皆さんの元に住民票が届く。なので、無用な施策と言われるとちょっと辛い。

市役所に来なくても済むので、是非市川市の LINE アカウントに友達登録してほしい。すごく便利で、日々進化もしている。全国初で波及もしている。

<13>中台製作所を中心に行徳の街並みが大好きです。笹屋うどんが復刻されれば、“食”部門も加わってさらにストーリー性が増すと思います。伝承館とお休み処の間の道路、交

通量が多く横断が危険です。高齢社会で、まち歩きも人気ですので、是非安全対策をお願いしたいです。

中台：

うどんがひとり歩きしているが、笹谷うどん屋さんの跡が残されていて、たまたまお休み処で何か簡単な食事を提供しようと考え、行徳といえばうどんということで、味も昔は今と比べるとあまり美味しくはなかったのではないかと思うので、うどんをキーワードに味を試行錯誤している。

市長：

旧行徳街道は歴史的に重要な道路で、昔は成田山の参道で、交通の要衝であった。この間聞いた話だが、歌舞伎の市川團十郎の「市川」は、どうも市川市に縁があることではないかと聞いた。来年、市川海老蔵が市川團十郎を襲名するそうなので、伝統に則って、旧行徳街道を通して成田山に参拝してもらいたい。ついでには行徳で是非イベントもやりたい。そうすれば大いに盛り上がると思う。まち歩きの安全性についてはとても大事なテーマですので、しっかり配慮したいと思う。

<14>都内で働いています。都民は船橋や浦安は知っていても市川を知りません。市川ってどこですか？と。市長、PR頑張ってください。

市長：頑張りたいと思う。その通りだと思う。皆が市川市を目指すような街づくりをしていきたい。

<15>藤田あかねさんのエドロックのお話はとても興味深い内容でした。今後も江戸川河川敷を使ったイベント可能性についてお尋ねします。

市長：

放水路と旧江戸川の三角の土地の活用法を考えていて、市民の皆様が楽しめるものを作れるのではないかと研究している。また、ランニングやサイクリングなど健康作りに役立てるようにしたいと思っているし、スポーツなどのイベントも出来ると思う。市民の皆さんの力でやるのが重要だと考えているので、いい案があれば持ってきてほしい。

藤田：

川は自然で出来たもので文化の生まれるところなので、海外の観光地は川を利用している。日本は遅れているが、川崎市などは川沿いにホテルを建ててその1階は空け渡してもらい、バーベキューが出来たりサイクリングショップが入ってサイクリングが出来たりいたりという施設になっていて、都内からも人が集まってきている。

市川の江戸川もそうゆう風になっていければ、イベントで利用できたり、普段でも市外からも人が集まる場所になると思う。そういった施設を民間企業と一緒にできたらステキだと思う。

<16>市川市はまだまだ市民と街の距離が遠い気がします。特に自転車、車を使って生活しておりますが、交通安全の面で非常に危ない思いをたくさんしました。お年寄りや小さいお子様もたくさん住んでいるので、大人が積極的に声をかけ合える雰囲気にして欲しい。

市長：

道が狭いので、危険な思いをする場面も多いと思うし、やはり日常から地域のコミュニティを強めて、よその子どもにも大人が気軽に声をかけられるような街にしないとダメだと思うので、自治会の皆さんにもご協力頂きながら市民のふれあいを増やす努力をしたいと思う。

<17>アートの話です。東山魁夷記念館の休憩室に置いてある落書き帳に、本物が少なくてがっかりという意見が多数書かれています。地元の人間として、遠くから来た方々に申し訳ないなと思います。

市長：

色々な経緯があって東山先生の作品は長野にいつてしまった。

来年、東山魁夷記念館が15周年を迎えるので、そこに向けていろいろなことを考えているので、頑張りたいと思う。

<18>宮久保地区に住んでいます。毎朝、地域の高齢者の方々が散歩をされています。今朝、「曾谷公民館の入口のところのアップダウンがきつくて膝が痛くなる」とお話を聞きました。高齢者のウォーキングは健康維持に役立つと思います。宜しくお願ひします。

市長：

わかりました。検証したいと思う。

<19>東京の会社の近くにも行徳産の神輿が展示されています！

市長：
ありがたい。

<20>イベントに参加しようと思っても、自治会主催だと運営が閉鎖的で情報が回ってこなかったり参画の仕方がわからなかったりすることが度々あるんですね。

市長：
おそらく、自治会の皆様からすると閉鎖的にするつもりはないと思うが、新しい方からすると、多分、敷居が高く感じられてしまうと思う。市役所でも自治会をどのように元気にするかということを若手職員中心にプロジェクトを組んでやっているし、自治会が地域で特色のある運営ができるような制度を考えている。近所の付き合いが強くなると思うので、是非自治会に参加していただきたい。

<21>本八幡一番街にはサイゼリヤー号店があります。サイゼリヤーは日本だけで約 1,000 店舗、世界にも 400 店以上ある世界的な飲食チェーンであり、従業員だけで 10,000 人以上います。その創業の地が本八幡であることは市川市の財産でもあると考えていますが、今計画されている本八幡駅北口再開発で一番街も対象地域になっています。市川市としては今後サイゼリヤー号店を再開発と共に無くなってしまうのを傍観するのか、何か残すための対策をするのか、どのようにおかんがえでしょうか。

市長：
再開発に関しては、まだまだ計画がまとまっているわけではなく、そういう方向性だということ。また、地権者の問題でもある。
一番街という商店街は魅力のある商店街で、再開発するにしても飲食店の雰囲気を残しながら再開発をしていく方向性になっていくだろうと思う。サイゼリヤー号店を残すかどうかで全体を組み立てるということには残念ながらならない。ただ、シンボリックなお店があったということは何らかの形で残していったほうが良いと思うし、サイゼリヤーさんにも話をしていくべきところかなと思う。

<22>市川市で「こども会議」、「女性会議」を開催したいです。

市長：

是非やってください。そうやってどんどんアイデアを出していただいて、良いものは積極的に取り入れていきたいので、ふるってご参加いただきたい。

【その他】開催中にとりあげることのできなかつた意見とそれに対する村越市長の回答。

○市川の魅力の一つに自然環境があります。市川の緑と自然について緑地の保全をどう考えているか？

市長：

市民のまちに対する愛着を高めるために、公園や緑地を守りできれば増やしていくことが大事だと思っています。

○先日発表された市川市と電通の協定締結の件、「市の魅力を pr」のためと伺っていますが、具体的にどのような事が行われていくのでしょうか？

市長：

ICHIKAWACOMPANY が立ち上がりました。詳しくはこちらのページをご覧ください。

<https://ichikawa-company.com/>

○市川市の梨を後世に残して行きたいですが、梨畑が次々に無くなり宅地が変わっていくのがとても残念です。保護的な施策はお考えですか？

市長：

梨は市川市最大のブランドなので、ブランド保全のために市も応援します。

○近時外国の方々がたくさん暮らすようになってきている市川市ですが、伝統文化、アート、食、を軸に活動をしているみなさんが、そんな地元で暮らす外国の方々に対して考えていることはありますか？

市長：

まちの多様性は市の財産だと思っているので、みんなで伝統文化を味わい、それを残して伝える取り組みをしていきたい。

以上